

ジョージ・バーナード・ショーに習う

山野茂樹† (カニエ動物クリニック勤務医獣医師)

2009年度が終わり、2010年度が始まった。今年は、勤務医として10年目を迎える。私は1年の中で好きな日が2日ある。大晦日と元旦だ。子供の頃は、親戚が集まり宴会とお年玉をもらえることが楽しかった。今では正月に実家へ帰り、親戚とお酒を飲み交わし、親戚の子供達にお年玉を渡すのが何より楽しみである。

もう1つの楽しみは、大晦日には、その年のことを思い返し1年の反省を手帳に書き、元旦には、今年1年の目標を手帳に書くことである。勤務医になった年から1度も欠かしたことはない。毎年、目標が上手く達成できず反省ばかりしている私だが、微々たる歩みでもほんの少し成長した自分に頬が緩む。

私は自分の仕事に少しでも計画性を持てるように、手帳をほぼ毎日つけている。今日のことを反省し、明日のことを考えるのは本当に楽しい。また手帳には、趣味である釣りの情報、家族のこと、偉人の名言など色々書いてある。

手帳を読み返すと昔の自分は仕事、生活など自分のいる環境に対して不安や不満を感じていたことがわかる。勤めて10年近くにもなると、動物に対する考え、獣医療の高度化など獣医学を取り巻く社会的状況は大きく変化している。そのため、仕事に対する悩みは、人間関係、労働基準、医療レベルなど増える一方だろう。そんな時、私は次の偉人の名言に出会い、手帳に書き留め、毎日目に付くように自分のロッカーに貼った。

「People are always blaming their circumstances for what they are. I don't believe in circumstances. The people who get on in the world are the people who get up and look for the circumstance they want, are if they can't find them, make them.」

直訳すれば「人は自分の問題を環境のせいばかりにしている。私は環境など信じない。世間で頭角を現す人物は、自分の望む環境を捜し求める人物でもあり、もしそ

れが見つからない時は、自分で作り出す人物である。」である。これは19世紀にイギリスで活躍した劇作家、ジョージ・バーナード・ショーの言葉である。

時が経ち、今では動物病院でそれなりにいい環境を作れたと思う。隣の芝生が青く見え、また思い通りにならず嫌になり病院を移る後輩を沢山みた。真面目に仕事を一生懸命やっていたらジレンマを感じ、モチベーションを保てなくなる時があるかもしれない。しかし、何のビジョンもなく辞めれば、次にあるのは決して自分の望む環境ではないと思う。明確に先のビジョンがあり、自分の環境を作ろうとする人は、転職してもいつの日か望む環境を手に入れると思う。

私が社会人研究生として大学に行く日は、病院を休ませていただいている。これができるのも大学に受け入れてくれた教官、自分の環境作りに理解を示してくださる院長や同僚のおかげである。今ある自分を育ててくれた人々に感謝の気持ちを忘れてはならない。

仕事環境に不満を感じる時は、是非ともジョージ・バーナード・ショーの名言を思い出してほしい。自分が今後、どのような獣医師人生を歩んでいくのかわからないが、「感謝の心知る者は心豊かであり、心満ち足りても志ある者は努力し続ける」、いつの日か、こんな人になれたらと思う。

山野茂樹

— 略 歴 —

- 2001年3月 北里大学獣医学科卒業
- 2001年4月 愛知県カニエ動物クリニックに勤務(現在に至る)
- 2003年 北里大学獣医学部獣医学科第3内科学研究室研究生
- 2006年 日本大学生物資源科学部獣医学科獣医内科学研究生(現在に至る)



† 連絡責任者：山野茂樹 (カニエ動物クリニック)

〒497-0050 海部郡蟹江町学戸4-164 ☎0567-96-3377 FAX 0567-96-3666 E-mail : chavez@d8.dion.ne.jp